



長岡技術科学大学 体育・保健センター 年報
平成25年度（速報）版



平成26年4月



長岡技術科学大学
体育・保健センター

長岡技術科学大学
体育・保健センター一年報
平成25年度(速報)版

目 次

1. はじめに ——センター長挨拶
2. 保健部門管理報告
3. 体育部門報告
4. 資料

1. はじめに



体育・保健センター長 三宅 仁

長岡技術科学大学 体育・保健センター 年報 平成25年度版（速報版）をお届けします。従前と同様で、年度末直後のデータですので、まだ揃っていないものも多数ありますが、速報版でお届けいたします。後日、問題なければ確定版と致します。（データの一部は統計的使用を目的に得られたものでありますので、目的外使用はお断り致します。）

平成23年3月11日の東日本大震災から丸3年が経ちましたが、まだまだ復興には遠い状況のようです。一方、少しだけ離れた本学ではほとんど以前の状況に戻った感があり、これは良い意味も悪い意味もあります。すなわち後者として、震災直後の心理的な危機感や連帯感が薄れつつあるように思います。昨年、体育・保健センターとしてこのような大きな問題に直接答えを出したり、またそういう人材を養成したりすることは使命ではないと書きましたが、塩野谷明准教授が教授に昇進し、三宅ともども経営情報系の一員として直接学生を指導している立場（8月、オーストラリア RMIT 大学の Dr. Fard の研究室訪問に対応する本センター研究室所属学生－資料参照）でもあり、センターの教育的側面の充実も課題です。まずは全学的なサービスセンターとして学生のみならず、教職員全員の健康の保持増進のお手伝いがより一層重要と考えております。

さて、センターの人事では大岡美穂保健師が6月に産休明けで戻って参りました。滝澤信子看護師は辞められましたが、平成22年から25年の3年度（実際は1年8ヵ月）に亘る活躍跡が遺ります。（その後、他大学の保健管理室勤務となって活躍されております。）カウンセラーは3人体制となって充実してきたのですが、残念なことに野村智子、角田智恵美の両先生がご都合でお辞めになることとなり、代わりに永井洋子、渡邊直司の両先生が4月からご勤務されることとなりました。その他は変わりません。

フィジカルヘルス関連では健診システムの更新に伴い、従来磁気カードによるID確認を行っていましたが、バーコード方式に切り替えたところ、かなりの効率改善となり、1日

800名を越える健診日も出現しました。また、某国留学生の結核集団感染が発覚致しましたが、実質的な問題となることはありませんでした。今後、鳥インフルエンザなどのパンデミック対策を含めた危機管理体制の充実が求められるところです。なお、国立大学法人保健管理施設協議会フィジカルヘルス委員会（委員長 長岡技術科学大学 三宅仁）が主催する第16回フィジカルヘルスフォーラムが平成26年3月19～20日に長岡市のアオーレ長岡において開催されました（表紙写真および資料参照）。ここでは産業医活動を中心とした内科医的立場からのいろいろな話題があったのですが、本学と関連する話題として、w-SDSが大きく取り上げられました。また、喫煙対策は全国的に揺り戻しが来ているとの情報がありました。本学でも昨年4月からは指定喫煙場所が1箇所となり、本年4月には敷地内禁煙となる予定だったのですが、諸般の事情で延期となりました。

メンタルヘルス関連ではやはり発達障害が中心となっています。本学では診断書の提出があった初めてのケースについて慎重に対応してきましたが、それについて全国的に報道されました（8月10日付朝日新聞）。

以上のほか、センター主催講演会（資料参照）やエイズ講演会も実施しました。また、センターの直接の行事ではありませんが、関係深いものとして小中学校教員研修講座（11月8日、長岡技術科学大学 教職課程年報 第2号 p35、2014）、学生指導研究会（11月29日、資料参照）やメンタルヘルス講演会（2月27日、資料参照）のお手伝いもさせていただきました。このほか熱中症予防のための情報提供（資料参照）も毎年の行事となり、今後はPM2.5の情報提供も必要となるかもしれません。

体育・保健センターでは学生諸君や教職員の皆様の健康保持増進のため、スタッフ一同、より良いセンターを目指して努力する所存でありますので、十二分に活用されることをお願いするものであります。

平成26年4月

（表紙写真：第16回フィジカルヘルスフォーラムの様子(H26年3月)、背表紙写真：隣町見附市の英国庭園の花(H25年6月))

平成25年度体育・保健センター年間行事等予定

月	体 育 関 係		保 健 関 係	
4	1	屋外体育施設の使用開始	17	AED講習会
	4	体育施設の使用割振り(夏期)	19.23	(放射線(X線)作業従事者の特別健康診断)
5	18	(春季球技大会)	8~10	定期健康診断
			14~16	定期健康診断受診者の再検査
			20~22	定期健康診断受診者の再診察
6	1	屋内プール使用開始		
7			6~7	第3学年入試(学力)救護
			10	体育・保健センター講演会
			22	AED講習会
8			8,9	全国大学保健管理協会関東甲信越地方部 会研究集会及び地方部会総会(茨城大学)
			29	(教職員の定期健康診断(生活習慣病検査))
9	14~15	技大祭のため体育施設使用休止	中旬	(有害・VDT・運転業務従事者の特別健康診断)
			下旬	放射線(×線)作業従事者の特別健康診断)
			下旬	(放射線(X線)作業従事者の特別健康診断)
10	19	(秋季球技大会)		
			中旬	(放射線(X線)作業従事者の特別健康診断)
11	上旬	体育施設の使用割振り(冬期)	6	防災訓練
	中旬	屋外体育施設の冬準備(ネット降ろし等)	13	体育・保健センター講演会
	30	屋内プール閉鎖	13,14	第51回全国保健管理研究集会(岐阜大)
12			16	第1学年入試(推薦)救護
			5~6	第35回全国メンタルヘルス研究会(大阪)
1			18,19	大学入試センター試験救護
			中旬	体育・保健センター講習会
2			25	第1学年入試(一般)救護
3			上旬	(有害・運転業務従事者の特別定期健康診断)
			12	(放射線(X線)作業従事者の特別健康診断)

()は体育・保健センターが直接関与しない行事

2. 保健部門管理報告

- 定期健康診断
- 応急処置状況
- 健康相談
- 心理相談
- 健康診断証明書発行数
- 経年変化
- 医療法医療安全管理義務化に伴う医療安全管理対策指針による自主管理点検票

平成25年度定期健康診断実施状況

平成25年6月24日現在

実施日 平成25年5月8日(水)～10日(金)

受診者数

<全体>

分 種 別	区	対象者数	受診者数			
			聴打診等 (受診率)		X線撮影 (受診率)	
学生		2,405	2072	86.2	2083	86.6
教職員		500	227	45.4	223	44.6
合計		2,905	2299	79.1	2306	79.4

<在籍別>

分 種 別	区	対象者数	受診者数			
			聴打診等 (受診率)		X線撮影 (受診率)	
学 部	1	105	103	98.1	104	99.0
	2	102	80	78.4	80	78.4
	3	469	444	94.7	445	94.9
	4	522	454	87.0	461	88.3
	計	1198	1081	90.2	1090	91.0
修 士	1	476	460	96.6	463	97.3
	2	502	405	80.7	407	81.1
	計	978	865	88.4	870	89.0
博 士	1	47	34	72.3	35	74.5
	2	56	39	69.6	36	64.3
	3	71	35	49.3	34	47.9
	計	174	108	62.1	105	60.3
専 門 職	1	9	0	0.0	0	0.0
	2	19	0	0.0	0	0.0
非正規生		27	18	66.7	18	66.7
合 計		2,405	2072	86.2	2083	86.6

注) 外部医療機関で健康診断を受診した者(B1～1名、B4～2名、M2～2名、D2～1名)も含む。

平成25年度定期健康診断結果 (学生・教職員)

平成25年6月24日現在

○内科診察の結果

	対象者数	受診者数	受診率	再診察			再診察の結果		
				要再診数	受診数	受診率	異常なし	経過観察	要精検数
学生	2,405	2072	86.2	7	7	100	0	7	0
教職員	500	227	45.4	0	0	100	0	0	0
計	2,905	2299	79.1	7	7	100	0	7	0

○胸部X線間接撮影の結果

	対象者数	受診者数	受診率	有所見数	要精検数
学生	2405	2083	86.6	3	2
教職員	500	223	44.6	0	2
計	2905	2306	79.4	3	4

○血圧測定の結果

	対象者数	受診者数	受診率	再検査			再検査の結果		
				要再検数	受検数	受検率	異常なし	経過観察	要精検数
学生	2405	2090	86.9	492	421	85.6	393	28	0
教職員	500	231	46.2	86	54	62.8	41	13	0
計	2905	2321	79.9	578	475	82.2	434	41	0

○尿検査の結果

	対象者数	受診者数	受診率	再検査			再検査の結果		
				要再検数	受検数	受検率	異常なし	経過観察	要精検数
学生	2405	2093	87.0	135	102	75.6	87	8	7
教職員	500	228	45.6	36	17	47.2	16	1	0
計	2905	2321	79.9	171	119	69.6	103	9	7

平成25年度定期健康診断結果(学年別)

○内科診察の結果

学年	対象者数	受診者数	受診率	再診察			再診察の結果		
				要再診数	受診数	受診率	異常なし	経過観察	要精検数
B1	105	103	98.1	0	0	0	0	0	0
B2	102	80	78.4	0	0	0	0	0	0
B3	469	444	94.7	3	3	100	0	3	0
B4	522	454	87.0	2	2	100	0	2	0
M1	476	460	96.6	1	1	100	0	1	0
M2	502	405	80.7	1	1	100	0	1	0
D1	47	34	72.3	0	0	0	0	0	0
D2	56	39	69.6	0	0	0	0	0	0
D3	71	35	49.3	0	0	0	0	0	0
専門1	9	0	0	0	0	0	0	0	0
専門2	19	0	0	0	0	0	0	0	0
研究生	213	18	8.5	0	0	0	0	0	0
計	2591	2072	80.0	7	7	100.0	0	7	0

○血圧測定の結果

学年	対象者数	受診者数	受診率	再検査			再検査の結果		
				要再検数	受検数	受検率	異常なし	経過観察	要精検数
B1	105	104	99.0	19	18	94.7	16	2	0
B2	102	80	78.4	25	20	80.0	20	0	0
B3	469	446	95.1	104	88	84.6	82	6	0
B4	522	461	88.3	99	91	91.9	83	8	0
M1	476	464	97.5	120	105	87.5	98	7	0
M2	502	409	81.5	94	75	79.8	73	2	0
D1	47	35	74.5	10	7	70.0	6	1	0
D2	56	39	69.6	10	8	80.0	8	0	0
D3	71	34	47.9	8	7	87.5	5	2	0
専門1	9	0	0	0	0	0.0	0	0	0
専門2	19	0	0	0	0	0.0	0	0	0
研究生	213	18	8.5	3	2	66.7	2	0	0
計	2591	2090	80.7	492	421	85.6	393	28	0

平成25年度定期健康診断結果(学年別)

○尿検査の結果

学年	対象者数	受診者数	受診率	再検査			再検査の結果		
				要再検数	受検数	受診率	異常なし	経過観察	要精検数
B1	105	104	99.0	6	6	100	6	0	0
B2	102	83	81.4	5	3	60	3	0	0
B3	469	446	95.1	33	26	78.8	22	0	4
B4	522	461	88.3	23	17	73.9	16	1	0
M1	476	464	97.5	30	19	63.3	12	4	3
M2	502	409	81.5	29	24	82.8	22	2	0
D1	47	35	74.5	3	1	33	1	0	0
D2	56	39	69.6	2	2	100	2	0	0
D3	71	34	47.9	3	3	100	2	1	0
専門1	9	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0
専門2	19	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0
研究生	213	18	8.5	1	1	100	1	0	0
計	2591	2093	80.8	135	102	75.6	87	8	7

○胸部X線間接撮影の結果

学年	対象者数	受検者数	受検率	有所見数	要精検数
B1	105	104	99.0	2	0
B2	102	80	78.4	0	1
B3	469	445	94.9	0	1
B4	522	461	88.3	0	0
M1	476	463	97.3	0	0
M2	502	407	81.1	0	0
D1	47	35	74.5	0	0
D2	56	36	64.3	0	0
D3	71	34	47.9	1	0
専門1	9	0	0	0	0
専門2	19	0	0	0	0
研究生	213	18	8.5	0	0
計	2591	2083	80.4	3	2

平成25年度9月入学者健康診断実施結果

平成25年9月24日現在

実施日 平成25年9月18日(水)

受診者数

<全体>

分 種 別	区	対象者数	受診者数			
			聴打診等 (受診率)		X線撮影 (受診率)	
学生		53	44	83	44	83
教職員		10	9	90	10	100
合計		63	53	84.1	54	85.7

<在籍別>

分 種 別	区	対象者数	受診者数			
			聴打診等 (受診率)		X線撮影 (受診率)	
学 部	1					
	2					
	3	7	6	85.7	6	85.7
	4					
	計	7	6	85.7	6	85.7
修 士	1	14 *1	14	100	14	100
	2					
	計	14	14	100	14	100
博 士	1	11	9	81.8	9	81.8
	2					
	3					
	計	11	9	81.8	9	81.8
非正規生*2		16	10	62.5	10	62.5
5月未受診 希望学生		5	5	100	5	100
合 計		53	44	83.0	44	83.0

*1 他4名が新修士課程1年だが、同年5月の定期健康診断受検済の為、対象とせず。

*2 非正規生とは、研究生・特別聴講生を指す。

平成25年度 応急処置発生状況(学生のみ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講義中	16	11	10	8	1	3	13	6	6	2	2	3	81
実験・実習中	2	7	3	6	1	4	3	0	1	2	2	1	32
体育・実技中	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7
課外活動中	5	11	5	7	5	13	4	5	1	0	2	8	66
交通事故	1	1	0	0	0	4	1	0	0	0	0	1	8
その他	110	122	91	67	25	42	58	53	23	30	27	26	674
合計	135	155	110	89	32	66	79	64	31	34	33	40	868

平成25年度 発生より処置までの時間(学生のみ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30分以内	8	16	11	10	2	12	5	6	4	1	2	1	78
3時間以内	16	7	10	13	5	8	6	1	4	3	3	3	79
12時間以内	12	11	7	7	1	4	7	4	0	3	2	3	61
24時間以内	23	26	4	5	1	5	7	3	6	3	1	12	96
24時間以上	76	95	78	54	23	37	54	50	17	24	25	21	554
合計	135	155	110	89	32	66	79	64	31	34	33	40	868

平成25年度 体育・保健センター疾病者応急処置状況

長岡技術科学大学

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計		
	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計	学生	職員	計			
(1) すり傷・切り傷・刺し傷等	5 (1)	1	6 1	8 (2)	0 (2)	8 (3)	12 (3)	0 (3)	12 (3)	13 (0)	2 (0)	15 (0)	3 (0)	1 (0)	4 (0)	11 (4)	0 (4)	11 (6)	8 (6)	1 (6)	9 (6)	4 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	5 (1)	0 (1)	5 (1)	72 (18)	5 (0)	77 (18)	
(2) 打撲・捻挫・筋肉痛	10 (2)	1	11 2	16 (3)	0 (3)	16 (4)	13 (4)	1 (4)	14 (3)	9 (3)	1 (3)	10 (0)	4 (0)	1 (0)	5 (0)	11 (2)	0 (2)	11 (7)	14 (7)	0 (7)	14 (1)	4 (1)	4 (1)	8 (3)	7 (3)	1 (3)	8 (0)	2 (0)	2 (0)	7 (0)	6 (0)	13 (0)	4 (0)	4 (0)	8 (0)	101 (25)	19 (0)	120 (25)	
(3) 火傷	1	1	2 0	4 (0)	0 (0)	4 (0)	5 (0)	0 (0)	5 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (0)	2 (0)	19 (0)	
(4) 頭痛・感冒等	74 (9)	8	82 9	53 (11)	1 (11)	54 (4)	46 (4)	4 (4)	50 (3)	30 (3)	3 (3)	33 (2)	14 (2)	2 (2)	16 (4)	20 (4)	0 (4)	20 (9)	41 (9)	7 (9)	48 (7)	37 (7)	1 (7)	38 (7)	17 (3)	5 (3)	22 (5)	19 (5)	19 (3)	15 (3)	5 (3)	20 (9)	22 (9)	4 (9)	26 (9)	388 (69)	40 (0)	428 (69)	
(5) 腹痛・下痢等	8 (1)	1	9 1	9 (4)	0 (4)	9 (1)	5 (1)	0 (1)	5 (0)	8 (0)	1 (0)	9 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (1)	7 (1)	0 (1)	7 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (1)	2 (1)	3 (1)	0 (1)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	50 (8)	4 (0)	54 (8)	
(6) 歯・耳・鼻・咽頭に関する症状	3 (1)	0	3 1	17 (1)	0 (1)	17 (2)	2 (2)	0 (2)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (3)	7 (3)	0 (3)	7 (3)	6 (3)	2 (3)	8 (1)	6 (1)	0 (1)	6 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (2)	5 (2)	2 (1)	0 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	53 (15)	3 (0)	56 (15)		
(7) その他	34 (7)	5	39 7	48 (13)	2 (13)	50 (2)	27 (2)	1 (2)	28 (3)	25 (3)	0 (3)	25 (1)	5 (1)	1 (1)	6 (2)	10 (2)	0 (2)	10 (1)	9 (1)	2 (1)	11 (1)	11 (1)	3 (1)	14 (1)	4 (1)	2 (1)	6 (0)	2 (0)	2 (2)	6 (2)	2 (2)	8 (1)	6 (1)	1 (1)	7 (34)	187 (34)	19 (0)	206 (34)	
計	135 (21)	17	152 21	155 (34)	3 (34)	158 (16)	110 (16)	6 (16)	116 (9)	89 (9)	7 (9)	96 (3)	32 (3)	5 (3)	37 (16)	66 (16)	0 (16)	66 (26)	79 (26)	14 (26)	93 (10)	64 (10)	8 (10)	72 (8)	31 (8)	8 (8)	39 (8)	34 (7)	0 (7)	34 (7)	33 (7)	14 (7)	47 (12)	40 (12)	10 (12)	50 (169)	868 (169)	92 (169)	960 (169)

()内は留学生を内数で示す。

平成25年度健康相談者数

	学部生		大学院生		学生	教職員	合計	累計
	日本人学生	留学生	日本人学生	留学生				
4月	25	2	8	3	38	6	44	44
5月	32	3	14	7	56	3	59	103
6月	11	2	8	3	24	1	25	128
7月	5	0	5	4	14	1	15	143
8月	4	1	1	0	6	0	6	149
9月	6	0	1	1	8	0	8	157
10月	7	0	4	2	13	3	16	173
11月	2	2	0	0	4	1	5	178
12月	2	0	3	0	5	1	6	184
1月	1	0	1	0	2	1	3	187
2月	1	1	1	0	3	0	3	190
3月	5	0	2	2	9	0	9	199
計	101	11	48	22	182	17	199	

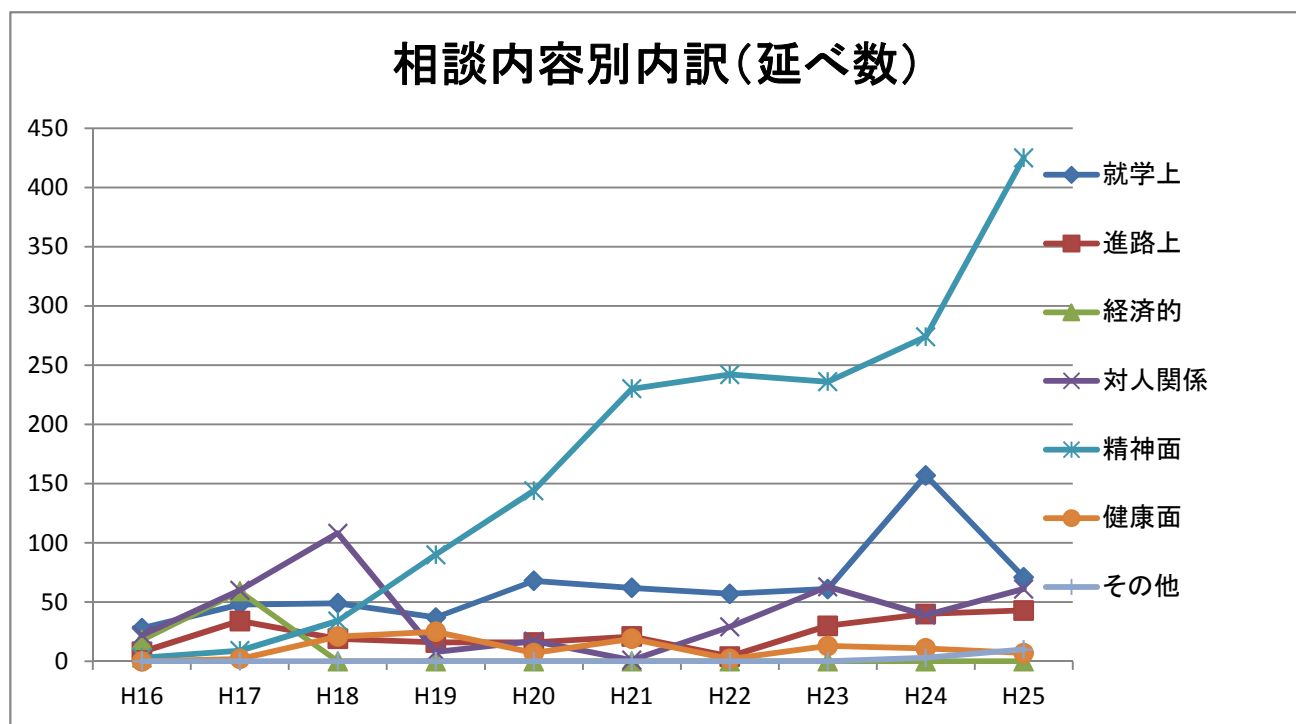
医療機関紹介数			
学部生	大学院生	教職員	計
3	0	2	5
5	5	2	12
0	0	0	0
0	1	0	1
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	1	1
0	0	0	0
1	0	0	1
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
9	6	5	20

カウンセリング相談内容等別内訳経年表(延べ数)

		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
学生	就学上	28	48	49	37	68	62	57	61	157	71
	進路上	8	34	19	16	16	21	4	30	40	43
	経済的	18	59	0	0	0	0	0	0	0	0
	対人関係	22	60	108	8	17	1	29	63	39	61
	精神面	3	9	34	90	144	230	242	236	274	425
	健康面	0	2	21	25	7	19	2	13	11	7
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10
	小計	79	212	231	176	252	333	334	403	524	617
教職員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	68
保護者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	28
コンサルテーション	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	36
その他	10	12	27	0	20	5	2	53	-	※5	
総計	89	224	258	176	272	338	336	456	649	749	

※H24年度から「教職員・保護者・コンサルテーション・その他」を別途計上している。
H23年度までは「学生」の内訳に「教職員・保護者・コンサルテーション・その他」が含まれた人数である。

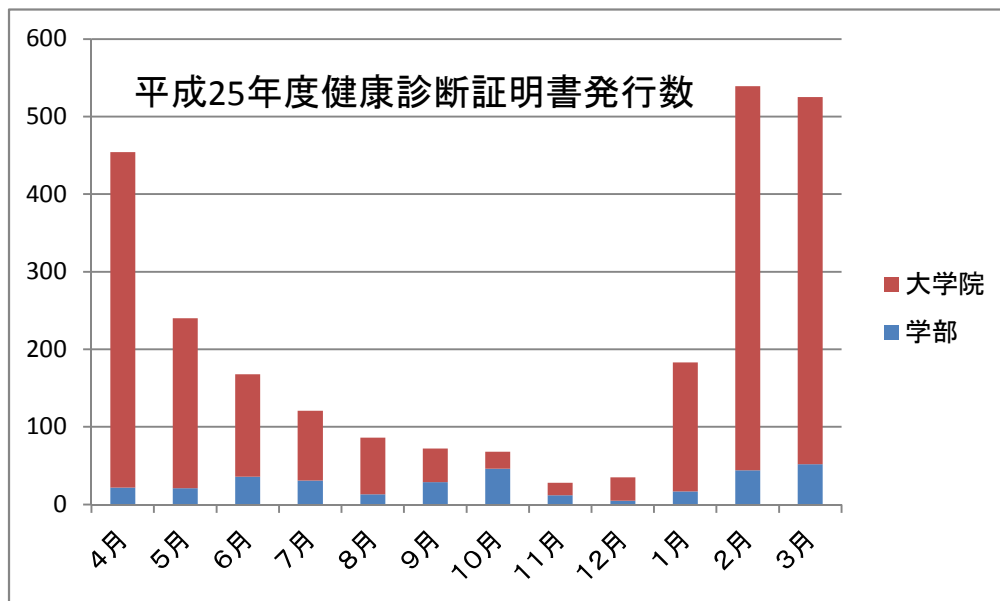
※H25年度からその他は心理検査を計上している。



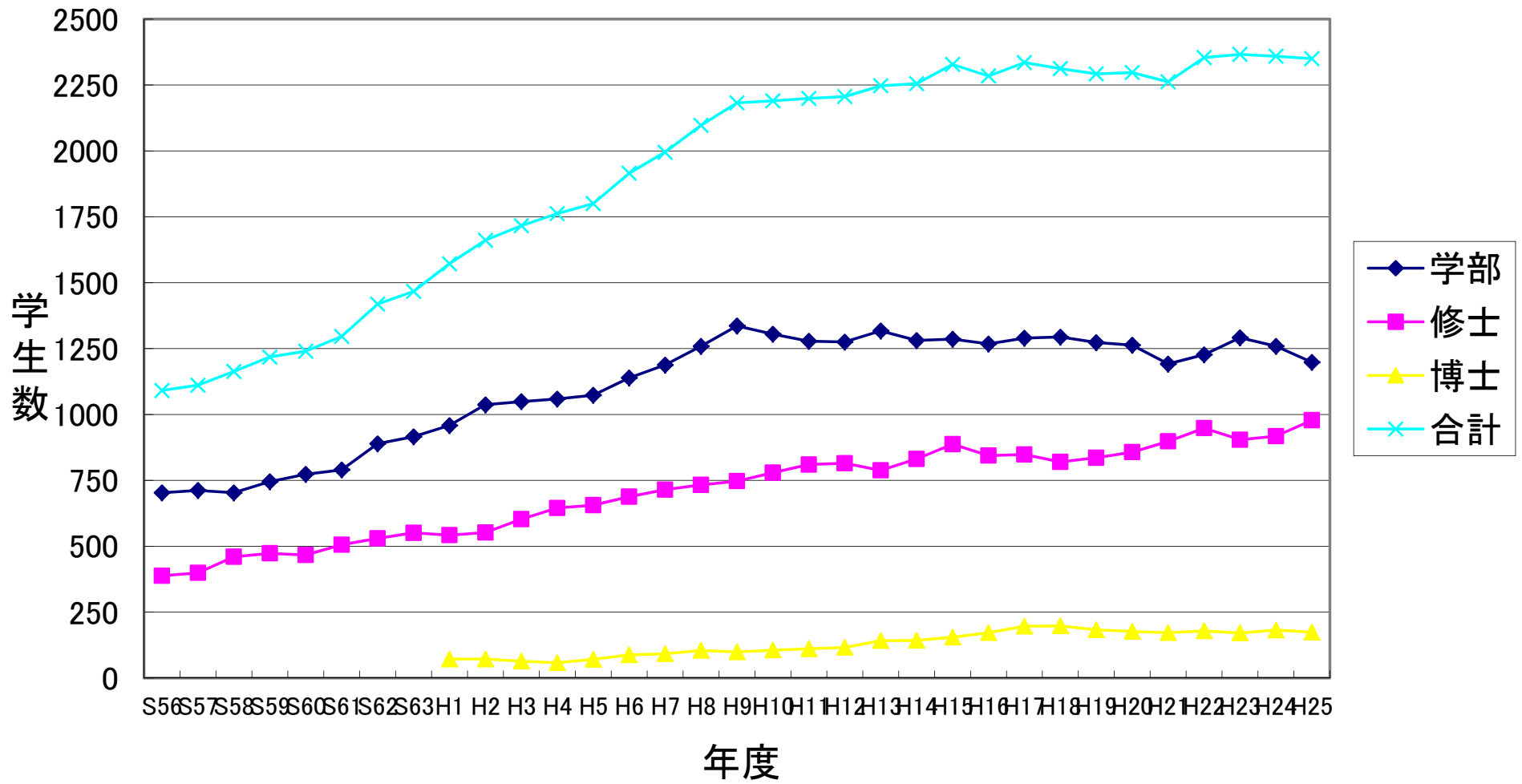
平成25年度健康診断証明書発行数

	学部	大学院	合計	累計
4月	22	432	454	454
5月	21	219	240	694
6月	36	132	168	862
7月	31	90	121	983
8月	13	73	86	1069
9月	29	43	72	1141
10月	46	22	68	1209
11月	12	16	28	1237
12月	5	30	35	1272
1月	17	166	183	1455
2月	44	495	539	1994
3月	52	473	525	2519
計	328	2191	2519	

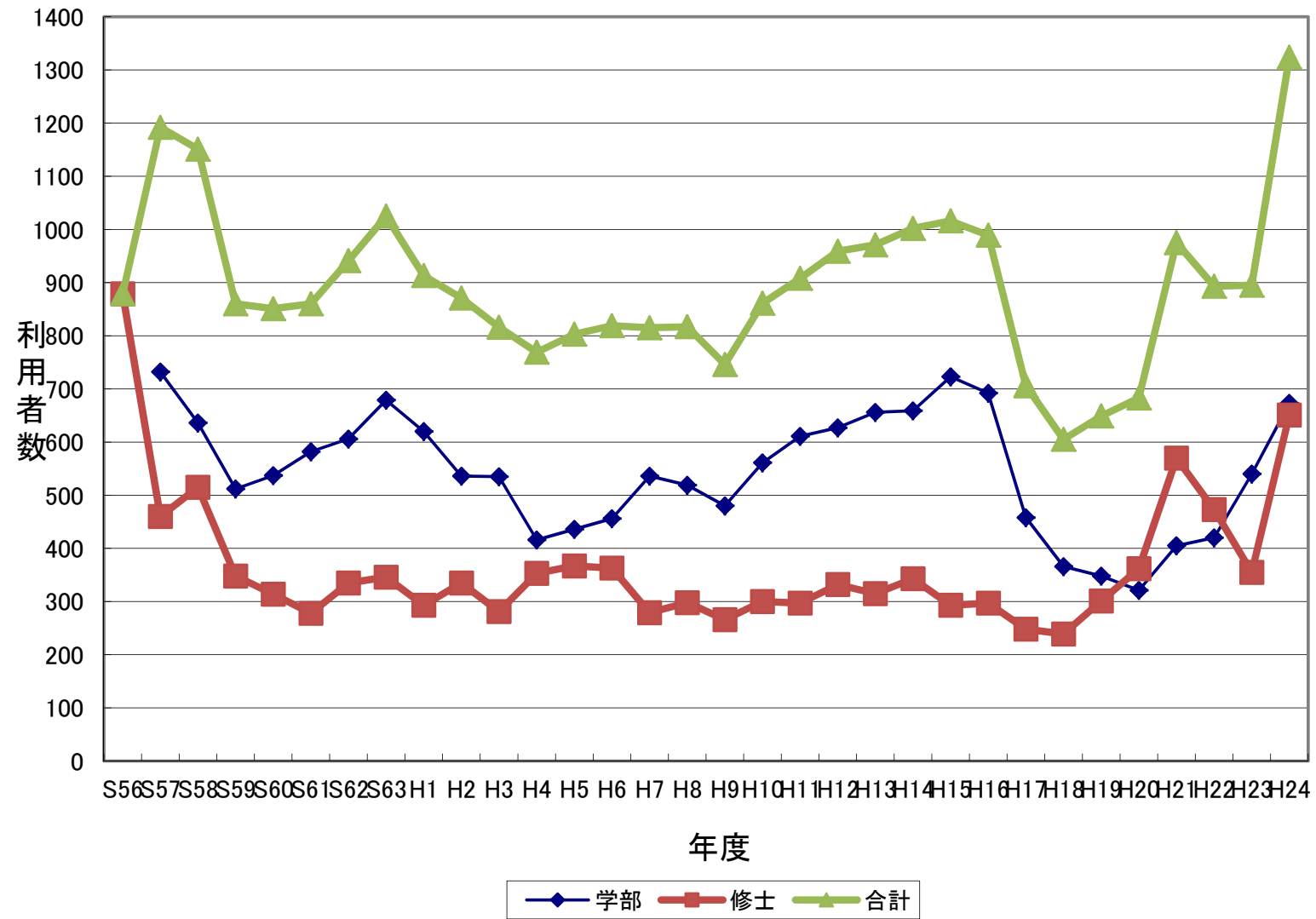
H24年10月から証明書自動発行機にて発行。上記は証明書自動発行機発行数+体育・保健センター発行数



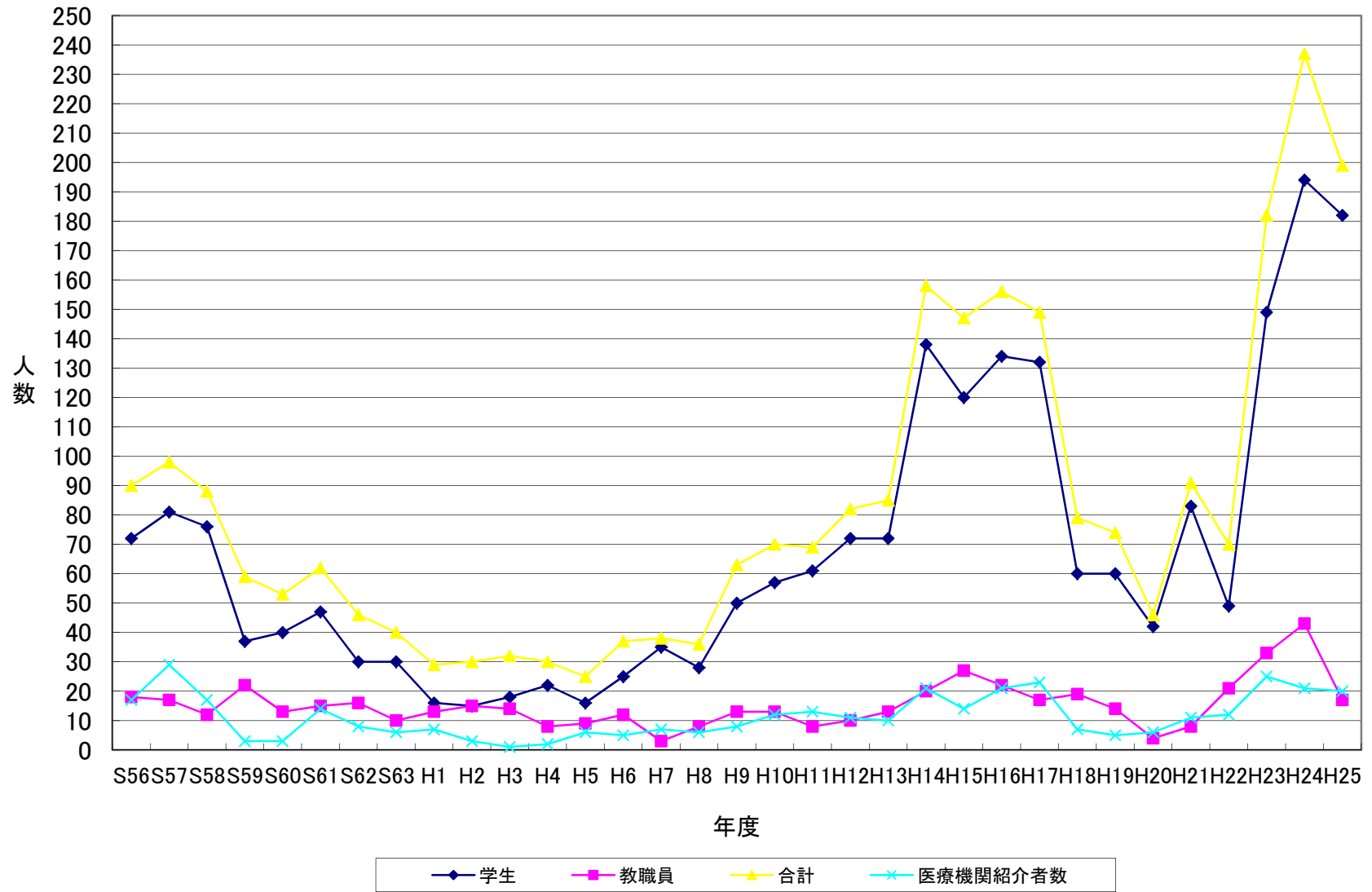
長岡技術科学大学 学生数



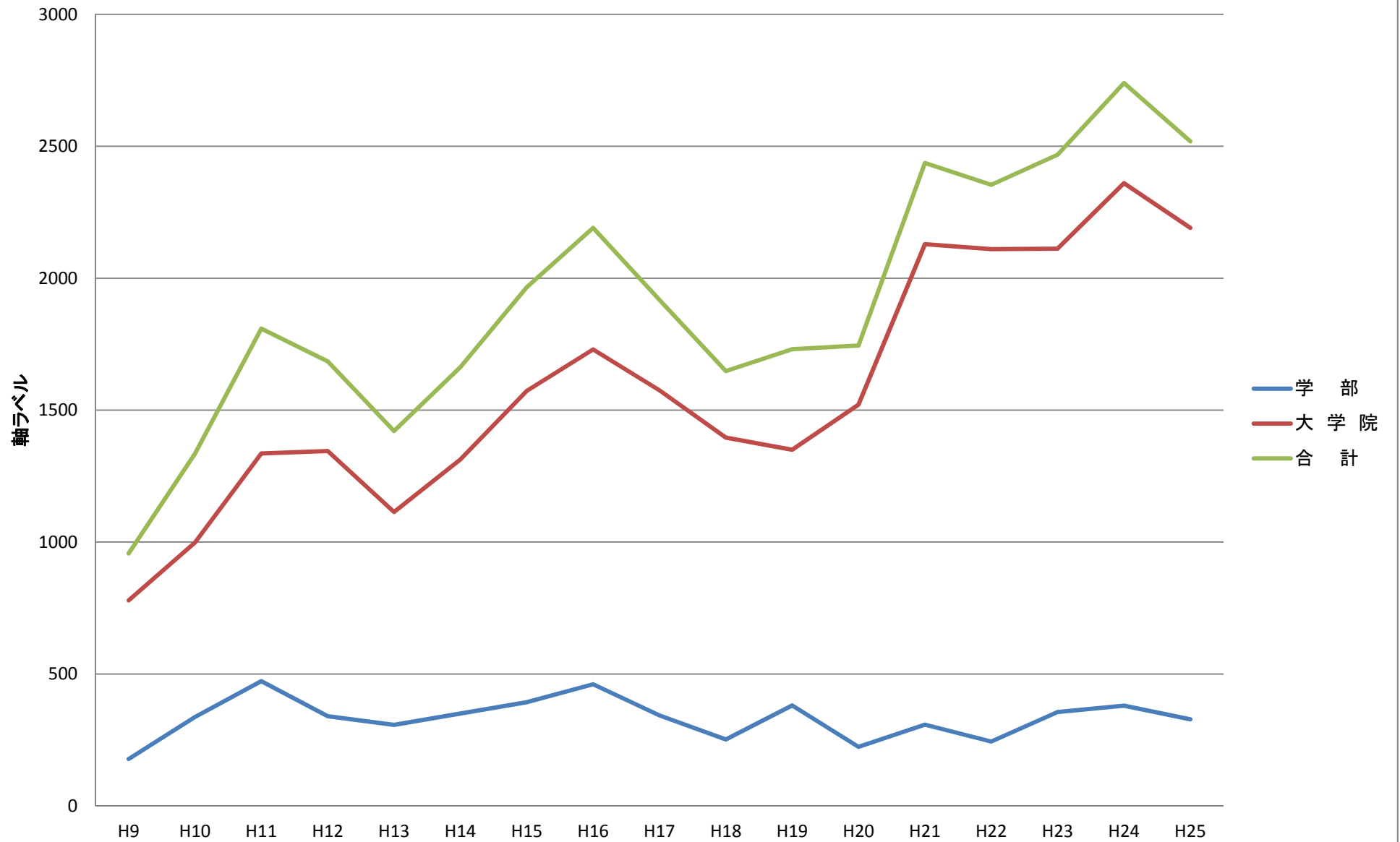
年度別応急処置状況



年度別健康相談者数



健康診断証明書発行数経年変化(H9~H25)



診療所自主管理点検票

(H25年度分)

貴院の管理運営等について、半年に1回ほど自己点検を行ってください。 (点検年度・点検月日とともに、点検結果欄には、適なら[○]、不適なら[×]、貴院に該当しない項目は斜線を記入ください。) [×]の付いた項目については、直ちに改善措置をお願いします。 なお、今後、立入検査時に実施状況を確認させていただきます。		点検日	点検日
点 検 項 目		9/30	3/28
項目	確認事項	点検結果	点検結果
広告	道路に面した場所等広く一般に確認できる看板等に広告規制に違反する項目はないか	/	/
院内掲示	入口、受付又は待合室付近の見やすい場所に掲示しているか	○	○
	定められた項目を掲示しているか ①管理者の氏名②診療に従事する医師又は歯科医師名③医師又は歯科医師の診療日及び時間	○	○
医療法の手続き (変更等があった場合は、保健所への手続きが必要です。)	保健所に届出等を行った事項に対し、(以下同じ。) 開設(管理)者の住所・氏名に変更はないか	○	○
	施設名・所在地に変更はないか	○	○
	診療科名に変更はないか	○	○
	診療日・診療時間に変更はないか	○	○
	用途変更も含め、施設の変更はないか	○	○
患者入院状況	各病室に定員を超えた患者を入院させていないか	/	/
	病室でない場所(処置室、予備室等)に入院させていないか	/	/
医療従事者資格	採用時に免許証原本の提示を求め、確認のうえ免許証写しの保存等を行っているか	○	○
職員の健康管理	定期的に従事者全員の健康診断が行われているか。また、検査項目がすべて行われているか	○	○
	健康診断個人票を作成し、5年間保存しているか	○	○
診療録	診療録に必要な事項が記載されているか	○	○
	・診療を受けた者の住所、氏名、性別、年齢	○	○
	・病名、主要症状	○	○
	・診療方法(処方及び処置)	○	○
	・診療の年月日	○	○
	過去5年間の診療録が保存されているか	○	○
放射線管理	診療した医師の署名があるか(非常勤も含め医師が2名以上いる場合)	○	○
	エックス線診療室等である旨を示す標識があるか	/	/
	管理区域である旨の表示があるか	/	/
	放射線障害防止に必要な注意事項(患者用・従事者用)を掲示しているか	/	/
	使用中の表示があるか(ランプが点くか)	/	/
	漏洩線量測定を6か月に1回以上実施し、結果を5年間保存しているか	/	/
	医師・診療放射線技師・診療エックス線技師以外のものが放射線を照射していないか (医師立会い・指示のもとといえども看護師・歯科衛生士も含み無資格者はが操作ボタンを押すことはできない。)	/	/
	保健所に届出を行っているエックス線装置に変更はないか	/	/
医薬品の取扱	毒薬又は劇薬を他の薬剤と区別して保管しているか	/	/
	毒薬は専用の鍵のかかる場所で保管しているか	/	/
	毒薬は黒地に白枠、白字をもってその品名及び「毒」の文字の記載、劇薬については、白地に赤枠、赤字をもってその品名及び「劇」の文字を記載しているか	/	/
	毒薬の受払い簿を作成し、定期的に数量を確認する等適正に保管管理しているか	/	/
	医薬品を他の薬品と区別して保管しているか	○	○
	医薬品及びその容器が清潔に保たれているか	○	○
	医薬品の数量、使用期限及び破損の有無等を確認しているか	○	○
	要冷所保存医薬品等の保管は適正になされているか	○	○
	冷蔵庫内は薬品専用としているか(食品等が混在していないか)	○	○
	調剤所	調剤所は清潔に保たれているか	/

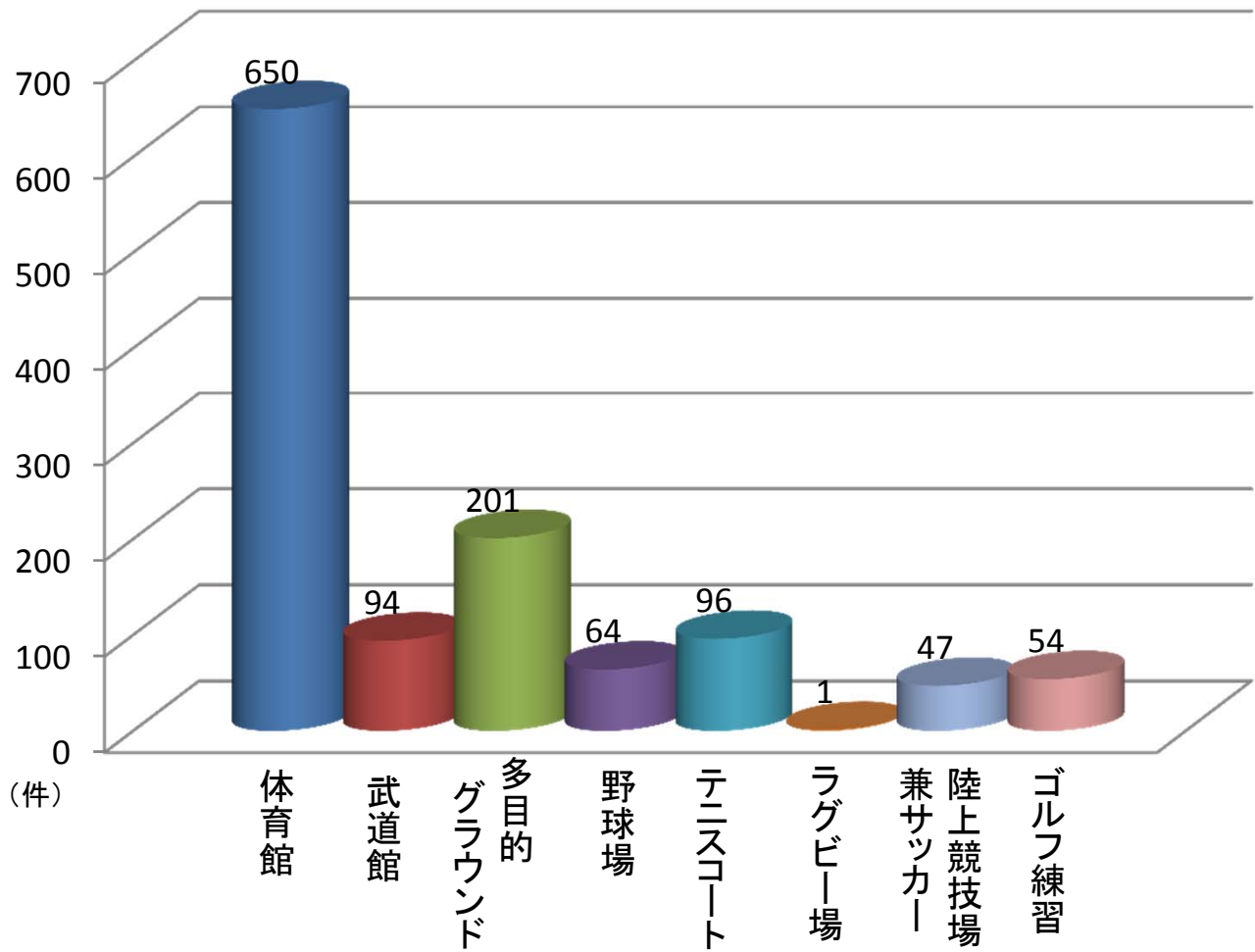
項目		確認事項	点検結果	点検結果
医薬品の取扱	麻薬	麻薬取扱免許証を所持した麻薬施用者または麻薬管理者がいるか	/	/
		麻薬は、麻薬以外の医薬品(覚せい剤を除く)と区別し、鍵をかけた堅固な設備に貯蔵しているか	/	/
		麻薬管理者は麻薬診療施設に麻薬管理帳簿を備え2年間保存しているか	/	/
医薬品の取扱	麻薬	帳簿は、品名、剤型、濃度別に口座を設けているか	/	/
		帳簿には、必要事項が記載されているか	/	/
		・譲り受けた麻薬の品名、数量、その年月日(購入先麻薬卸売業者の氏名又は名称及び製品番号を備考欄記載)	/	/
		・廃棄した麻薬の品名、数量、その年月日	/	/
		・譲り渡した麻薬(使用のため交付したリン酸コデイン、リン酸ジヒドロコデイン、塩酸エチルモルヒネを除く)の品名、数量、その年月日	/	/
		・施用した麻薬(リン酸コデイン、リン酸ジヒドロコデイン、塩酸エチルモルヒネを除く)の品名、数量、その年月日	/	/
	・事故届を提出した場合には、届出た麻薬の品名、数量、事故発生年月日、届出年月日(備考欄記載)	/	/	
	向精神薬	向精神薬(ソセゴン、レパン、リタリン、ペンタジン、ロヒプノール、ラボナ、イソミタール、サイレース)は鍵をかけ保管しているか	/	/
		容器等に「(向)」等適正な表示がなされているか	/	/
		譲渡、譲受、廃棄の記録をし、その記録を2年間保存しているか	/	/
	毒物又は劇物	劇物・毒物は他のものと区別して鍵のかかる専用の保管庫に保管しているか	/	/
		毒物又は劇物の容器及び被包に、「医薬用外」の文字及び毒物については赤地に白字をもって「毒物」の文字、劇物については白地に赤字をもって「劇物」の文字を表示しているか	/	/
劇物・毒物を陳列・保管する場所には、「医薬用外劇物」、「医薬用外毒物」の文字を表示しているか		/	/	
感染性廃棄物	感染性廃棄物の収納容器にバイオハザードマーク又は表示(「感染性廃棄物」の旨、及び性状「液状又は泥状」、「固形状」、「鋭利なもの」の別)があるか	○	○	
	収納されている廃棄物と容器のバイオハザードマークの色又は表示が適正か(赤色・・・「液状又は泥状(血液等)」、橙色・・・「固形状(血液付着のガーゼ等)」、黄色・・・「鋭利なもの(注射針・メス・破損したアンプル・バイアル等ガラス製器材)」)	○	○	
	注射針のリキャップは行わないようにしているか	○	○	
	委託しようとする感染性廃棄物が事業の範囲に含まれているか	○	○	
	委託業者は都道府県知事から収集運搬又は処分の業の許可を受けた者であるか	○	○	
	委託契約書があり、契約書に不備は無く、許可証の写しが添付されているか	○	○	
	マニフェストを交付しているか	○	○	
	適切に処理されたことが返送されたマニフェストの写し(B2、D、E票)によりを照合確認し、A票の照合確認欄に確認した年月日を記載しているか	○	○	
	マニフェストの返送を受けた日から5年間保存しているか	○	○	
院内感染対策	アルコール製剤による擦式消毒または石鹼と流水による手洗いが行われているか(洗面器を使用した手指消毒は不確実な消毒法のため行わないこと)	○	○	
	ディスプレイのペーパータオルを使用しているか ペーパータオルの設置は、手指からのしずく等による汚染防止が図られているか	○	○	
	使い捨て手袋を着用してケアする前後も手指の消毒は行っているか	○	○	
防火防災	非常口付近はスムーズに通れる状態であるか	○	○	
	消火設備(消火器、屋内消火栓、スプリンクラー、屋外消火栓等)があるか	○	○	
医療安全管理体制	■「医療安全管理指針」の策定と指針に基づく対策が実施されているか	○	○	
	■「院内感染対策指針・マニュアル」の策定と指針等に基づく対策が実施されているか(H19.6.30まで経過措置あり)	○	○	
	■「医薬品業務手順書」の策定と手順書も基づく業務が実施されているか(H19.6.30まで経過措置あり)	○	○	
	■「医療機器保守点検計画」の作成と計画に基づく業務が実施されているか(H19.6.30まで経過措置あり)	○	○	

3. 体育部門報告

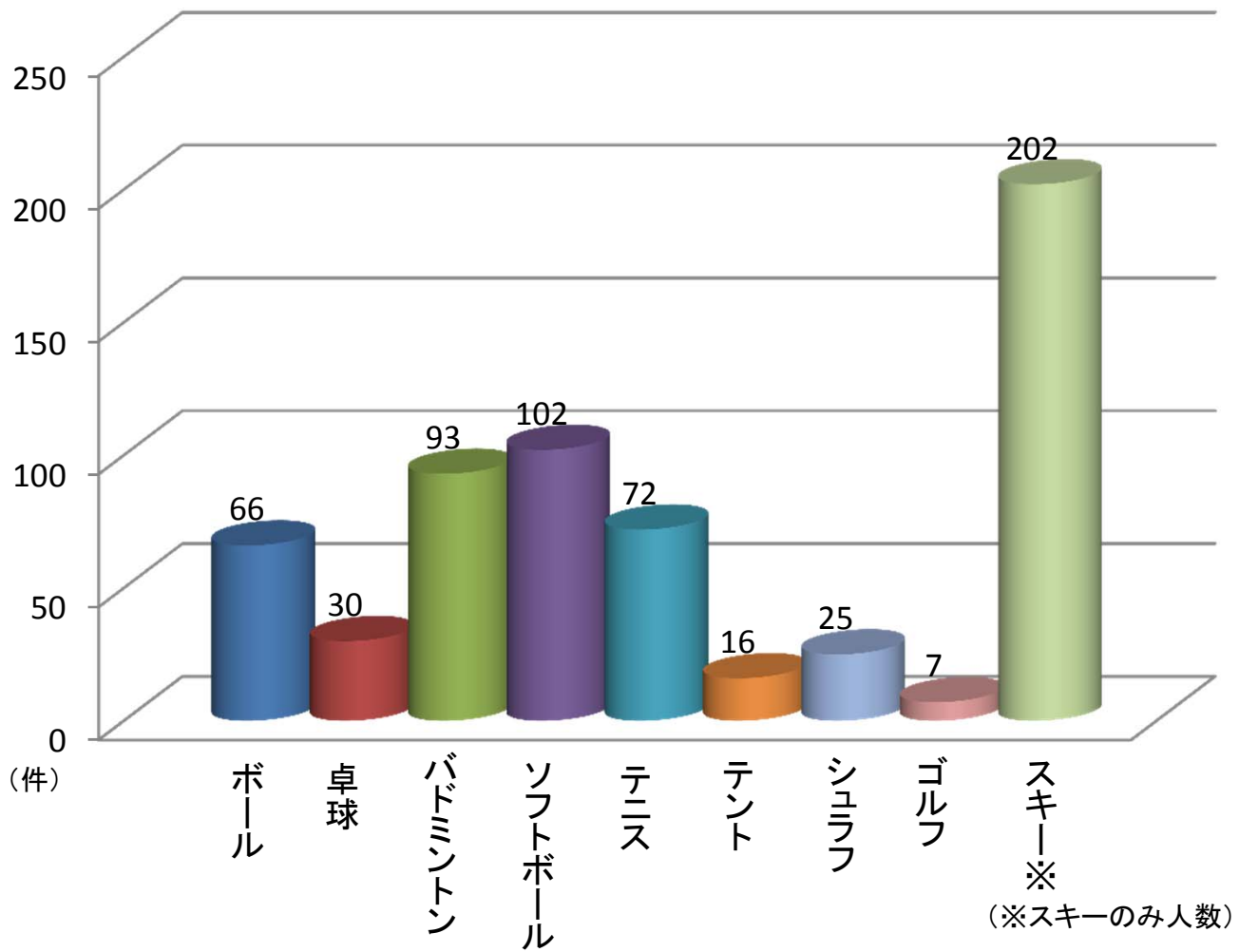
➤ 施設利用状況

➤ 物品貸出状況

平成25年度 体育施設使用許可件数



平成25年度 体育物品貸出件数



4. 資料

- 4月5日 センター案内、学生相談室案内(H26年度入学式配付資料)
- 5月8~10日 定期健康診断の様子(バーコードラベル採用)
- 6月12~9月18日 熱中症対策
- 7月10日 体育・保健センター講演会
- 8月4日 オープンキャンパス
- 8月30日 RMIT Dr. Fard の研究室訪問
- 11月29日 [平成25年度学生指導研究会\(本学HPへ\)](#)
- 2月27日 教職員向けメンタルヘルス講演会 男女共同参画
- 3月19~20日 第16回フィジカルヘルスフォーラム

体育・保健センターでは自ら健康であり体力を高めるため、諸々の体育施設を整えるとともに積極的にスポーツを奨励し、体育活動に関し指導、助言を行っています。

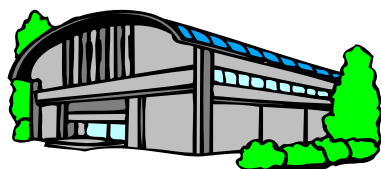
また、学生、教職員の健康管理のため、応急処置、健康診断、健康相談等の業務を行っています。

自ら積極的にスポーツや体力測定を行い、「健康や体力の重要性」を肌で感得し、また、正課体育で学習した成果を課外スポーツの発展に結びつけ、大学生活をさらに有意義なものにするとともに、スポーツを生涯にわたって実施する習慣を身につけましょう。

大いに体育・保健センターを利用して下さい。

1. 施設の概要

- 体育施設：体育館、武道館、トレーニングルーム、屋内プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、テニスコート、多目的グラウンド、ゴルフ練習場
- 保健施設：保健室、休養室、学生相談室



2. 体育・保健センターの利用

(1) 体育施設

① 利用方法

体育・保健センター事務室にて施設の予約状況を確認の上、利用する3日前までに「体育施設（特別）許可願」を提出し、許可を受けてください。なお、体育用具の貸出を希望する場合も併せて願い出てください。

昼休み（12：00～13：00）は、屋内プールを除き、どの施設も自由に利用できます。

■ 予約受付時間

月曜日～金曜日 9：15～16：00
（昼休み12：00～13：00は除く）

② 利用時間

■ 月曜日～金曜日 8：30～21：00
16：00～21：00はサークル活動で使用します。なお、サークル活動のための体育施設の使用割当については、4月及び11月にセンターに掲示します。

■ 休日（土・日・祝日）8：30～21：00
休日は、センター入り口を開錠するための暗証番号が必要です。暗証番号は毎週変わりますので、休日直前の金曜日（祝日の場合は前日）の受付時間内にセンター事務室へお尋ねください。

② 休業日

- 夏季一斉休業日（8月13日～15日）
 - 年末年始（12月29日～1月3日）
- なお、臨時休業及び利用時間に変更がある場合は、その都度センターに掲示します。

(2) 保健施設

① 保健室

学内での外傷、急病などの不慮の疾患に対して医師及び保健師が応急処置を行います。また、毎週水曜日又は木曜日の午後に医師による健康相談を行っています。診断並びに健康相談の結果、応急処置で治療できない外傷及び治療を要すると認められた場合には、専門の病院を紹介しています。（この場合の診療費は個人負担となりますので、保険証を持参して下さい。）

なお、時間外及び休館時におけるけがや病気で救急

病院に行くまでに至らないものに対処するため、エネルギーセンターに「救急箱」を設置してあります。

また、各種健康器具（全自動身長体重計、全自動血圧計、体内脂肪計等）が備えてありますので、健康状態を知る参考にしてください。

② 休養室

身体の不調などで休養をとりたい時は、ベッドが用意してありますので、利用してください。

③ 学生相談室

学生生活における様々な心理的問題の相談場所として学生相談室があります。毎週月・火・水曜日及び隔週金曜日は専門家によるカウンセリングに就いています。（学生相談室案内参照）また、定期の相談日以外でも可能な限り相談に応じますので、身体等に異常が生じたり、悩みごと等がある時は、いつでも気軽に申し出て下さい。相談内容については秘密を守ります。



* 利用時間等について 月～金曜日

- ◇ 健康相談……………9：00～17：00
（随時受け付けます）
- ◇ カウンセリング……………9：00～17：00
予約受付
- ◇ 応急処置等……………8：30～17：00

3. 定期健康診断

- 定期健康診断は毎年5月に学校保健安全法に基づいて全学生を対象に行っていますので、必ず受診してください。（胸部X線撮影、内科診察、身体計測、血圧測定、尿検査等）
- 就職時または大学院進学時に必要な健康診断証明書は、この定期健康診断を受診していないと発行できません。



健康診断証明書の発行について

5月の定期健康診断を受けている場合、健康診断証明書を発行します。下記の証明書自動発行機をご利用ください。

○発行開始月 7月1日から

○学務課・学生支援課前待合室 平日 8:30~18:00

○図書館2階入館ゲート手前 4:00~翌3:00

健康診断では**学生証が受診に必要**ですので
忘れないようにして下さい。

体育・保健センタースタッフ



三宅 仁 教授、センター長
（保健管理担当、学校医、産業医、
ハラスメント総括相談員、経営情報系
生活福祉支援情報工学講座、9822）



塩野谷 明 教授
（体育担当、経営情報系生活福祉支援
情報工学講座、9823）

大岡 美穂 保健師
（ハラスメント相談員）

安野 和子 事務補佐員

木村 嶺子 非常勤学校医（内科医）
（ハラスメント相談員）

森田 善晴 非常勤学校医（精神科医）
（ハラスメント相談員）

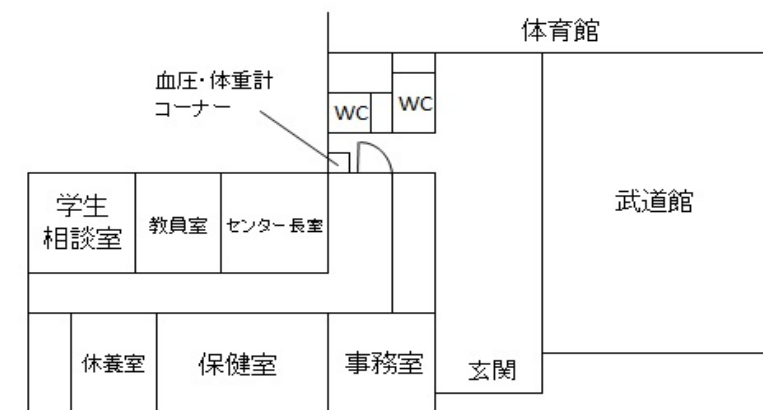
三浦 かおり 非常勤カウンセラー
（ハラスメント相談員）

渡邊 直司 非常勤カウンセラー
（ハラスメント相談員）

永井 洋子 非常勤カウンセラー
（ハラスメント相談員）

体育・保健センター案内 2014

☆ 体育・保健センター



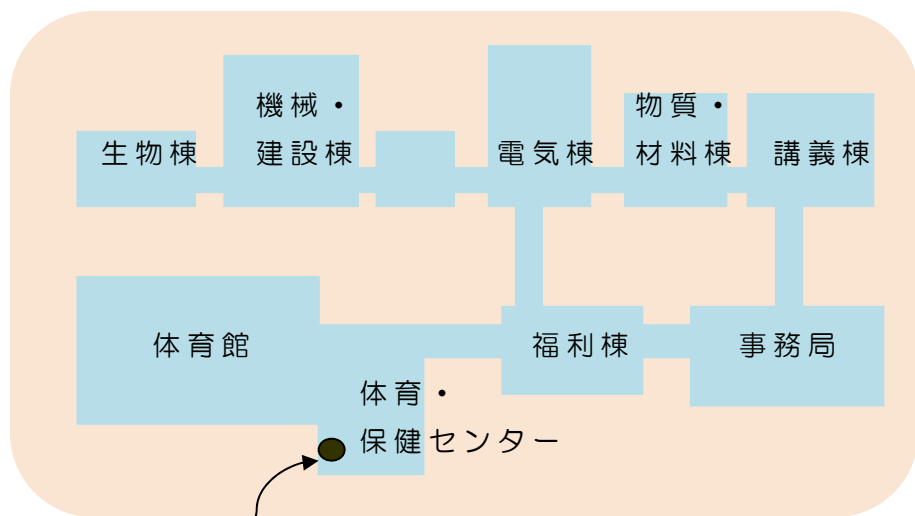
体育・保健センター

TEL 0258-47-9824 内線 9824

E-mail: hcc@melabo.nagaokaut.ac.jp

<http://www.melabq.nagaokaut.ac.jp/>

● 学生相談室の場所



学生相談室



学生相談に関する案内

http://www.nagaokaut.ac.jp/j/gakubu/soudan_annai.html

学生相談室案内 2014

有意義な学生生活を送るために



小さなことから相談してみよう・・・



国立大学法人
長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology

学生相談室

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

TEL : 0258-47-9824

E-mail : hcc@melabo.nagaokaut.ac.jp

● 学生相談室とは・・・

学生相談室は、授業や研究、課外活動、その他学生生活全般にわたる様々な心理的問題について相談を常時受けています。

大学生活の中で生じる悩みや課題は、自分自身について考えるよい機会ともなります。カウンセラーからアドバイスをを受けたり、気持ちを話して整理することで、問題解決の糸口を自ら見つけ出していく場所でもあります。

学生相談室は、皆さんがより有意義な学生生活を送ることができるように活動しています。相談内容については、プライバシーの保護を厳守していますので、小さな悩みごとでも気軽にご利用ください。

● 主な活動

- 学生生活に関する心理的な相談
- 教職員からの相談・コンサルテーション
- 保護者からの相談
- 心理・精神保健に関する情報提供



相談内容の秘密は厳守します。

● 開室日

月曜日 9時～17時	三浦かおり(臨床心理士)
火曜日 //	渡邊直司 (臨床心理士)
水曜日 //	永井洋子 (臨床心理士)
金曜日(隔週) //	三浦かおり(臨床心理士)
第2・4木曜日 15時～17時	森田善晴(学校医 精神科医)

* 英語での相談も可能です。

● 相談スタッフ



- 常勤の学校医 1名
- 非常勤の医師(精神科医) 1名
- 非常勤のカウンセラー(臨床心理士) 3名

● 利用方法

相談は、予約制となっています。

時間が空いていれば対応しますが、事前に直接来室するか、電話またはメールにて下記に申し込んでください。

体育・保健センター 保健室

月曜日～金曜日 9時～17時

(昼休み12～13時)

TEL 0258-47-9824 内線 9824

E-mail: hcc@melabo.nagaokaut.ac.jp

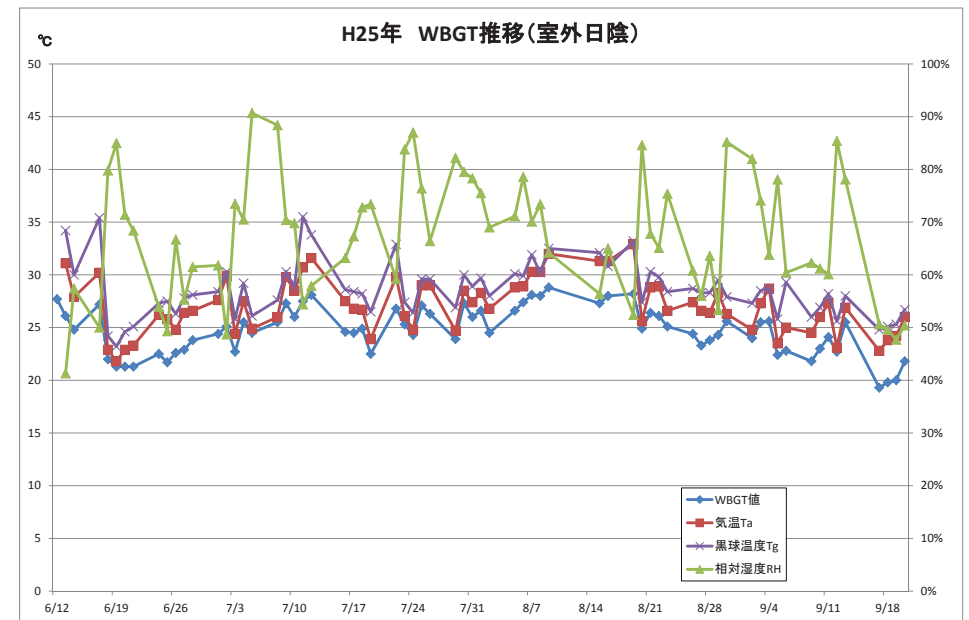
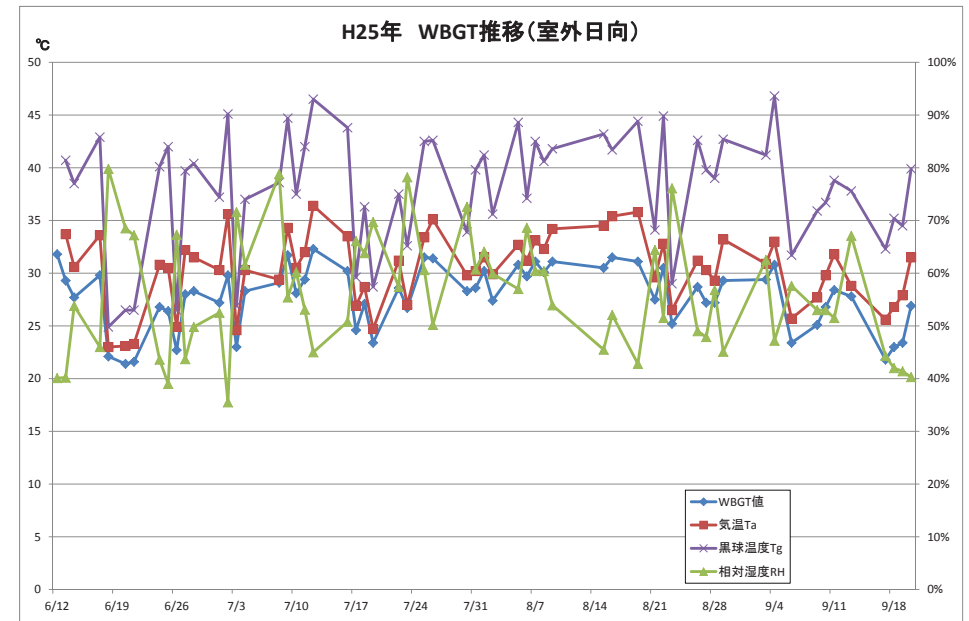
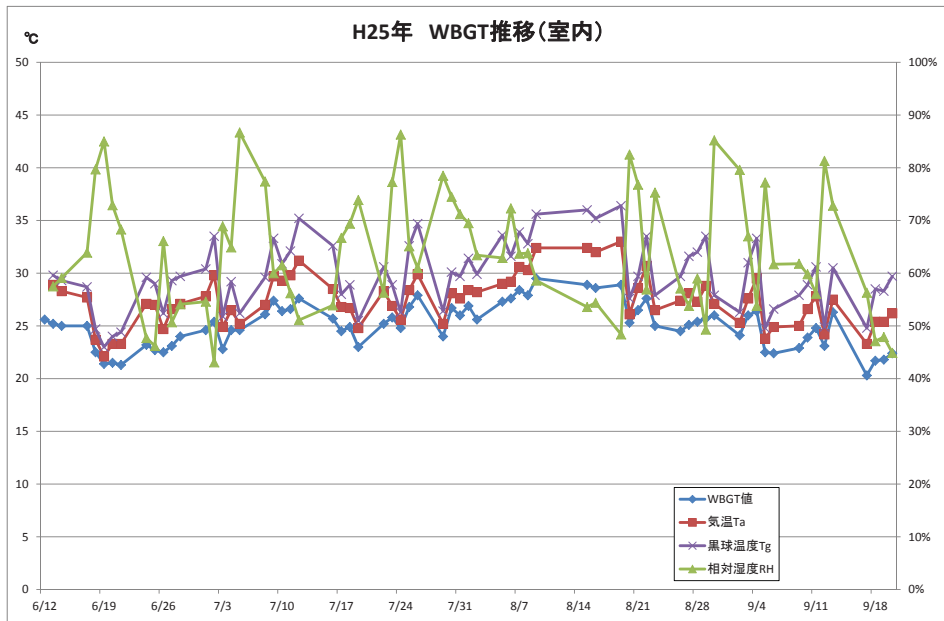


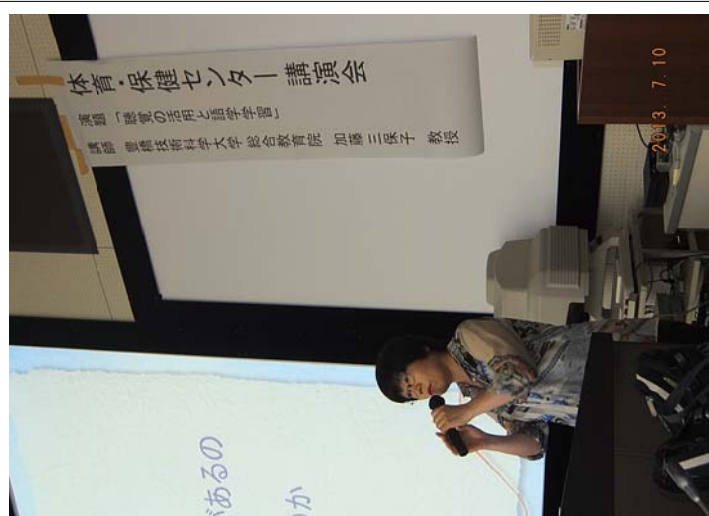
同志新科学大学

RA

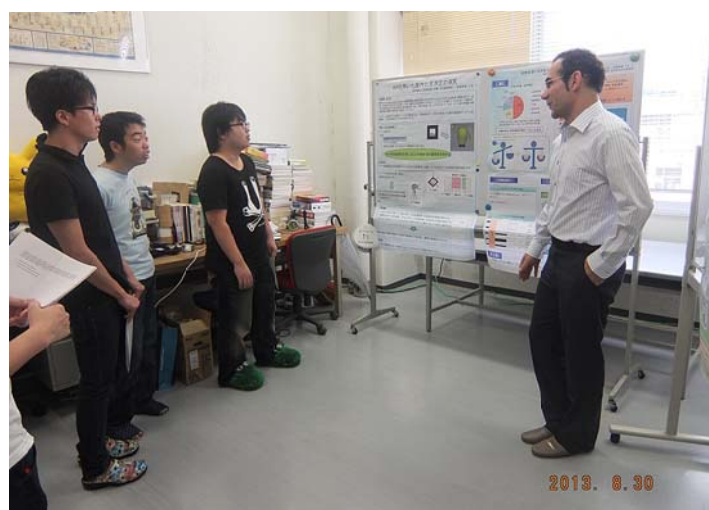
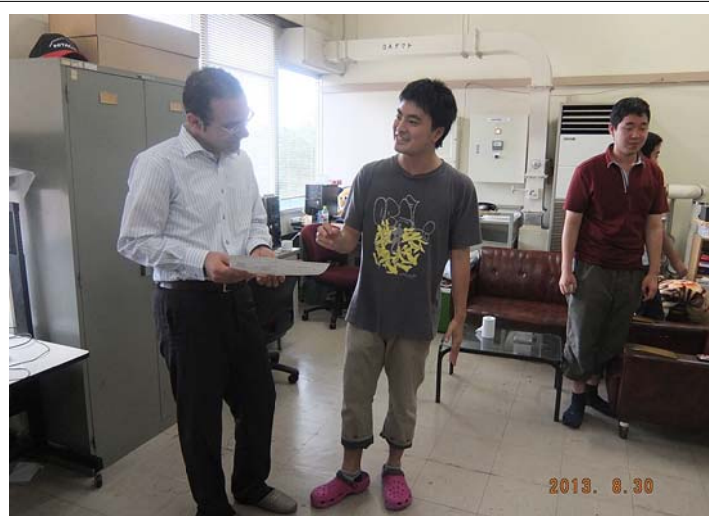
磁気面はここ

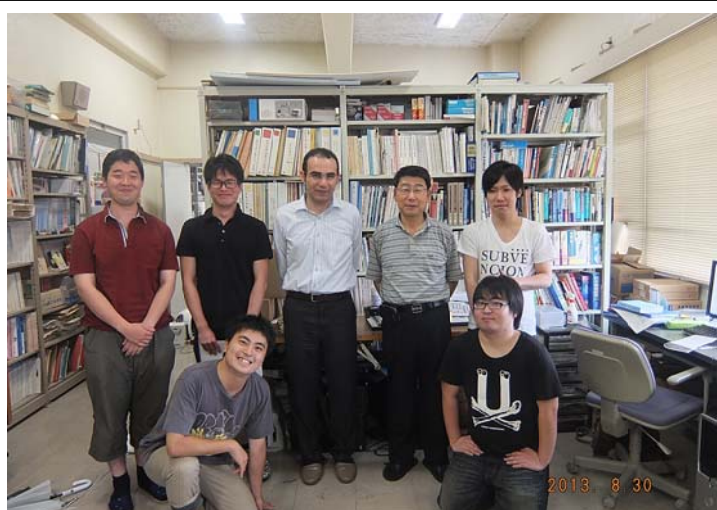
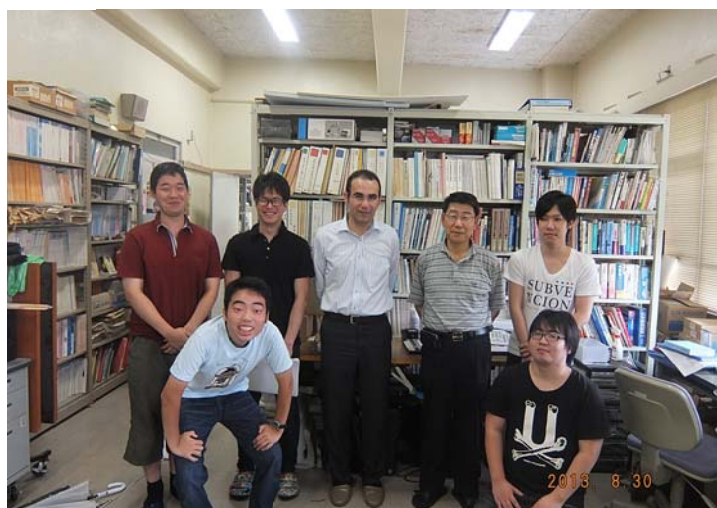
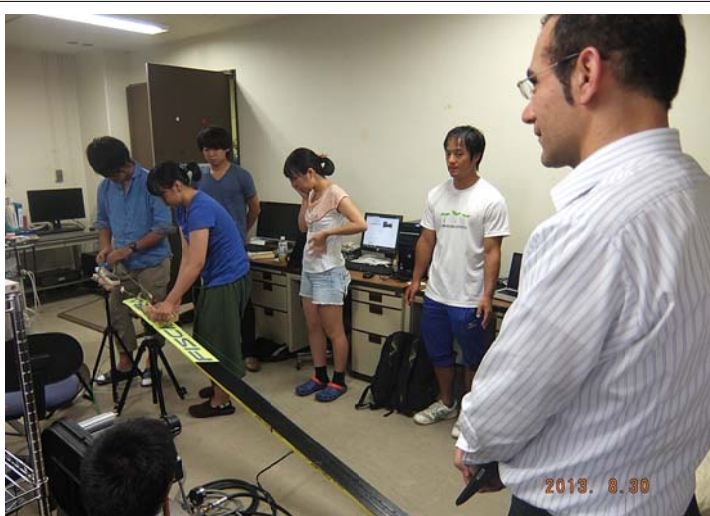
2013. 5. 9













第 16 回フィジカルヘルス・フォーラム
報告書



コーディネーター 長岡技術科学大学
体育・保健センター 三宅 仁

平成 26 年 3 月 19 日～20 日

於 アオーレ長岡

はじめに

第16回フィジカルヘルス・フォーラム（PHF）を平成26年3月19日（水）～20日（木）に長岡市のアオーレ長岡で開催させていただきました。今回は、初日は大学の安全衛生をテーマとして産業医の先生方中心のプログラムとし、2日目には3つの公募テーマによるオーガナイズドセッションと致しました。

特別講演は日医の産業医研修単位を認めて頂きました。全体に盛りだくさんの話題となりましたのでディスカッションは十分な時間が取れなかったと思いますが、夜の意見交換会では活発な“生”の議論ができたのではと思います。また、会員のみでなく、非会員の保健師・看護師の皆さん方にも参加していただきました。合計83名の参加となりました。

この場を借りて、国立大学法人保健管理施設協議会、同フィジカルヘルス委員会、日本医師会、新潟県医師会、長岡市医師会、長岡市観光コンベンション協会、長岡技術科学大学、講師各位等関係各位に深甚の謝意を表します。

平成26年3月末日

第16回PHFコーディネーター

長岡技術科学大学体育・保健センター 三宅 仁

目 次

はじめに

概要

第 16 回フィジカルヘルス・フォーラムプログラム

第 1 日 3月19日（水）

テーマ 1：大学における安全衛生

特別講演 「事業所における安全管理法（w-SDS）について ―長岡技術科学大学における実践―」（日医産業医研修 1 単位） 座長：長岡技術科学大学 三宅 仁

演者：長岡技術科学大学 教授 福田 隆文 先生

ワークショップ：今、大学産業医を取り巻く問題に答える

座長：大塚 盛男 先生、立身 政信 先生

1) 第 12 次労働災害防止計画と大学

演者：東京大学環境安全本部 大久保 靖司 先生

2) 健康管理と法律

演者：広島大学保健管理センター長 吉原 正治 先生

3) 巡視のコツ

演者：岩手大学保健管理センター長 立身 政信 先生

4) 健康診断

演者：京都大学健康科学センター長 川村 孝 先生

5) 職員健康診断事後措置 ―新潟大学の事後措置の実際―

演者：新潟大学保健管理センター 真島 一郎 先生

6) リスクマネジメントとしての感染症、インフルエンザ対策

演者：千葉大学総合安全衛生管理機構 潤間 励子 先生

7) メンタルヘルス

演者：東京工業大学保健管理センター 安宅 勝弘 先生

8) その他

第 2 日 3月20日（木）

テーマ 2 大学生・教職員のフィジカルヘルスとメンタルヘルス

「オーガナイズドセッション」

1) 健康診断の予約制・自動システム化について

オーガナイザー：広島大学保健管理センター長 吉原 正治 先生

1-1) 健康診断予約制、自動システム化に関する全国調査結果について

広島大学保健管理センター

吉原 正治 先生

1-2) 熊本大学における日常受診管理システムの運用状況

熊本大学保健センター

岸川 秀樹 先生、副島 弘文 先生、菊池 陽子 先生、本田 るみ子 先生、田代 邦子 先生、木下 麻衣子 先生

1-3) 名古屋大学における健診データ自動収集システムについて

名古屋大学総合保健体育科学センター

石黒 洋 先生、市橋 淳 先生、宮田 祐子 先生、後藤 朋与 先生、中原 久美子 先生、竹中 美樹 先生、押田 芳治 先生

1-4) Web による予約システムを用いた新潟大学の健康診断について～自動計測システムとの併用効果～

新潟大学保健管理センター

神主 京子 先生、黒田 毅 先生、真島 一郎 先生、鈴木 芳樹 先生

2) 禁煙対策

オーガナイザー：奈良女子大学保健管理センター長 高橋 裕子 先生

2-1) 大規模大学の敷地内禁煙化後 東北大学 黒澤 一 先生

2-2) 中規模大学の敷地内禁煙化後 岩手大学 立身 政信 先生

2-3) 小規模大学の敷地内禁煙化後 上越教育大学 上野 光博 先生

3) 教職員のメンタルヘルス対策

オーガナイザー：秋田大学保健管理センター長 苗村 育郎 先生

3-1) 教職員のメンタルヘルス問題の概要

秋田大学保健管理センター所長 苗村 育郎 先生

3-2) コミュニケーションから見た大学教職員の「型」とメンタルヘルス

岡山大学保健管理センター准教授 清水 幸登 先生

3-3) 「コミュニケーション」に基づくメンタルヘルスのリスク管理について

大阪大学キャンパスライフセンター 特任教授、関西学院保健館 学校医・産業医、
全国大学メンタルヘルス研究会 会長 杉田 義郎 先生

第16回フィジカルヘルス・フォーラムの概要

フィジカルヘルス・フォーラム会長 大塚盛男

第16回フィジカルヘルス・フォーラムは、アオーレ長岡市民交流ホールAにおいて開催され、会員56名、非会員20名、長岡技術科学大学関係者4名、日本医師会産業医研修のみの一般参加者3名、合計83名の方が参加されました。特別講演1題、ワークショップでの講演8題、オーガナイズドセッションでの講演10題の構成で行われましたが、どのご講演も大変興味深い内容であり、また我々が日常的に問題と感じている内容について講師の先生方が大変わかりやすくご講演いただき、大変有意義な2日間を過ごすことができました。今回のフォーラムでは、これまでにない二つの企画が導入されたことが印象的でした。1つは、三宅先生のご尽力により長岡技術科学大学の福田隆文先生の特別講演が日本医師会産業医研修として認めていただいたことでした。今後、産業医関連のテーマが企画された場合に、状況によっては日本医師会産業医研修として認めていただける道が開かれたのではないかと思います。他の1つは、三宅先生の斬新なアイデアにより導入された「オーガナイズドセッション」です。三宅先生が、会員の中から3人のオーガナイザーを選出され、各オーガナイザーの先生がそれぞれのテーマにふさわしい活動をされている先生を演者に選ばれ講演していただくという、フォーラムとしてはこれまでにない形式となりました。これにより各テーマにおいて講演していただく演者の幅が広がった可能性があるのではないかと思います。

大変ご多忙のところご尽力いただきましたコーディネーターの三宅教授や長岡技術科学大学の関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。また、ご講演いただきました先生方や座長としてご協力いただきました先生方にも御礼を申し上げます。なお、今回は意見交換会にカニの食べ放題のプランも企画していただきました。フォーラム終了後バスで長岡市寺泊に移動して、日本海のカニの味を十分に堪能させていただきました。

プログラム、講演メモと記憶をもとに概要を作成し報告させていただきましたが、内容を十分に把握できていない点や理解できていない点があるかと存じます。ご講演いただきました先生方におかれましては、内容に失礼がありましたらご容赦くださいますようお願い申し上げます。なお、今回のフォーラムでは報告書の印刷・配布は行いませんが、PDF形式の報告書をフィジカルヘルス・フォーラムのHPに掲載させていただきますので、講演の詳細についてはHPをご覧くださいできれば幸いに存じます。

第1日 3月19日(水)

テーマ1：大学における安全衛生

1. 特別講演

「事業所における安全管理法(w-SDS)について—長岡技術科学大学における実践—」 長

岡技術科学大学安全衛生管理委員会 w-SDSワーキング主査（システム安全系） 福田隆文先生： 長岡技術科学大学で行っている安全管理法w-SDS（working- Safety Data Sheet）の理念・目的や実施方法について詳細にご講演いただいた。w-SDSとは、大学における教育・研究の現場の安全のために、関係法令に基づいて横断的に管理する方法で、設備・作業毎に適用される関係法令を横断的にリストアップし、研究特有のリスクアセスメントを行うために作成していると述べられた。「法令等で決まっていることを知らないで事故を起こすことをやめよう」という基本理念が達成されるためには、w-SDSの作成にあたり関係する大学の構成員（管理者、関係教職員、学生）が主体的に係ることが最も大切であることを強調されていた。

2. ワークショップ：今、大学産業医を取り巻く問題に答える

1) 「第12次労働災害防止計画と大学」 東京大学環境安全本部 大久保靖司先生： 平成25年4月に策定された第12次労働災害防止計画の概要と大学に関係する重点項目について解説された。大学に関係する重点項目として、労働災害、業務上疾病発生状況の変化に合わせた対策の重点化や社会、企業、労働者の安全・健康に対する意識変革の促進が挙げられ、前者については、メンタルヘルス対策、過重労働対策、化学物質対策、腰痛・熱中症対策、受動喫煙防止対策について、それぞれ目標を掲げて強化・推進すること、後者においては、大学教育への安全衛生教育の取り入れ方策を検討することが示されていると述べられた。

2) 「健康管理と法律」 広島大学保健管理センター 吉原正治先生： 健康管理や産業医業務に関係する法律や規則として、労働安全衛生法・施行令・施行規則、学校保健安全法、医師法等について解説された。また、法律の条文の理解を深めるために、健康管理・産業医・検診に関する判例事例を提示された。日常の業務に密接した身近に起こりうる事であり、提示していただいた参考文献やURL等で確認しておく必要があると考えられた。

3) 「巡視のコツ」 岩手大学保健管理センター 立身政信先生： 産業医として職場巡視を行う際には、1人で巡視するのではなく、より頻回に巡視を行っている衛生管理者や有害業務を行う事業場に選任されている衛生工学衛生管理者とともに巡視計画を立てることが重要であると強調された。また、巡視の際に問題点の追及だけでなく良い点も取り上げ、衛生委員会等においてそれを褒めることにより安全で健康的な職場風土が醸成される可能性があるとして述べられた。

4) 「健康診断」 京都大学健康科学センター 川村 孝先生： 大学における健康診断の実施根拠やその意義を述べられ、健康診断結果を活用して保健指導を行い健康の保

持・増進に役立てることや事業者として就業上の措置を講じることが重要であると述べられた。また、健康診断において実施される項目についての有用性の評価についても解説され、科学的根拠を意識しながら健康診断を実施していくことが必重要であると述べられた。

5) 「職員健康診断事後措置」 新潟大学保健管理センター 真島一郎先生： 法的には、健康診断の事後措置は実施が義務付けられているが、統一された基準はなく、実施の徹底も不十分であるのが現状である。新潟大学において実施されている健康診断の事後措置について概説していただいた。健康診断実施前に教職員に事後措置の必要性を通知するとともに産業医面談の対象基準を設けて該当者を選別・呼び出しすることにより、必要な事後措置を実施することが可能となったことが報告された。

6) 「リスクマネジメントとしての感染症、インフルエンザ対策」 千葉大学総合安全衛生機構 潤間励子先生： 新型インフルエンザや成人麻しんの流行により、大学では感染症対策の重要性が強く認識されたが、事業継続計画（BCP）の面で大学が十分に対応できたとは言えない状況であり、平成24年に制定された新型インフルエンザ等対策特別措置法についても、大学としてもそれに対応した取り組みが十分には行えていないのが現状であると述べられ、大学として今後の情報収集・連携・正しい情報の共有が重要であると述べられた。

7) 「メンタルヘルス」 東京工業大学保健管理センター 安宅勝弘先生： 産業医としてメンタルヘルスの問題を抱えた教職員に対する対応として、職種による業務内容や勤務様態、専門性や特殊性を考慮する必要があることや病休、休職、復職においては必要な労務提供が可能か否かという点も考慮に入れて主治医と連携しながら判断する必要があることを事例提示されながら解説された。

8) 「その他」 岡山大学保健管理センター 小倉俊郎先生： プログラムには記載されておりましたが、三宅先生から有害業務に対する特殊健康診断について、小倉俊郎先生に発言のご指名があり、小倉先生から岡山大学における特別健康診断の実施状況をご報告された。岡山大学では有害業務に従事する学生に対しても特殊健康診断を実施しており、実施数は教職委員以上の数であり、それに必要な予算要求をして実施していると述べられた。

3. 業務連絡 意見交換会会場への移動車中での連絡となった。主に、役員会で話し合われたことを報告させていただき承認を得た。(1) 次期開催校：第17回フィジカルヘルス・フォーラムは、室蘭工業大学保健管理センターの佐々木 春喜先生にご担当いただくこと

が確認され、第 18 回の担当は東海・北陸地区で、北陸先端科学技術大学院大学保健管理センターの林 多喜王先生にご担当いただく予定となった。(2) フォーラム役員について：フィジカルヘルス・フォーラムの世話人に、新たに数名の先生に加わっていただき体制を強化すること、保健管理センター所属には必ずしもこだわらず大学において産業医として活躍されている先生にも加わっていただくこととなり、今後人選を進めることとなった。

(3) 会則の変更について：会費（参加費）は現在、会員 2,000 円、非会員 1,000 円となっているが、今後は職種別として、医師 2,000 円、その他の職種 1,000 円とすることとし了承を得た。(4) 新会員紹介：千葉大学総合安全衛生機構 吉田知彦先生、一橋大学保健

センター 福田 平先生、豊橋技術科学大学体育・保健センター 小島俊男先生、京都工芸繊維大学保健管理センター 荒井宏司先生、山口大学・大学教育機構保健管理センター 山本直樹先生を新会員としてご紹介させていただいた。参加者数 83 人

第 2 日 3 月 2 0 日（木）

テーマ 2：大学生・教職員のフィジカルヘルスとメンタルヘルス

4. オーガナイズドセッション

1) 「健康診断の予約制・自動システム化について」

オーガナイザー 広島大学保健管理センター 吉原正治先生
国立大学法人保健管理施設協議会の保健管理業務の情報処理に関する特別委員会の委員長として、本セッションのオーガナイザーを担当され、2013 年に実施した「健康診断の予約制・自動システム化」に関する全国調査の結果を報告されるとともに、実際に導入し・運用されている 3 大学の状況について報告を依頼された。

1-1) 「健康診断の予約制、自動システム化に関する全国調査について」 広島大学保健管理センター 吉原正治先生：全国調査では 64 大学から回答があり、学生健診時に機器による自動取込を行っているのは 64 大学中 21 大学、職員健診では 60 大学中 8 大学であること、健診の予約制を行っているのが学生で 4 大学、職員で 3 大学であることを報告された。また、各大学から寄せられたそれらに関するメリット・デメリットやその他の意見についても紹介された。

1-2) 「熊本大学における日常受診管理システムの運用状況」 熊本大学保健センター 岸川秀樹先生：熊本大学で有用されている日常診療受診管理システムの運用状況について報告された。このシステムでは、日常診療受診管理ができるため利用者の受診履歴が容易に把握できるだけでなく、健康診断結果や感染症対策状況報告書ともリンクしているため、学生の健康状況を一元的に管理できること、平成 23 年に地元の会社に依頼し導入され、版權を熊本大学が保有しているためトラブル対策が容易であると述べられた。

1-3) 「名古屋大学における健診データ自動収集システムについて」 名古屋大学

総合保健体育科学センター 石黒 洋先生： 名古屋大学で実施されている健康診断結果の自動収集システムの実際について報告された。胸部X線の判読結果を除き、問診事項も含め全て当日オンラインでデータを収集することが可能であり、大規模校においても多数の受診者に対する健診の迅速化や正確性、健診結果報告の迅速化が図られ、事後指導への誘導も容易になったと述べられた。

1-4) 「Web による予約システムを用いた新潟大学の健康診断について～自動計測システムとの併用効果～」 新潟大学保健管理センター 神主京子先生： 新潟大学で実施されている健康診断結果の自動収集システムと Web による予約システムについて報告された。健康診断結果の自動収集は、名古屋大学とほぼ類似のシステムであること、Web による予約システムの導入により時間当たりの受診者数が設定できることや学生の都合による受診等により、受診者の偏在が減少し、健診時間や待ち時間の短縮、健診業務の軽減等が可能となったことや事後指導への対応も容易になったことが報告された。

2) 「大学敷地内禁煙化後の実情と対策～そのとき何が起こり、どう乗り切ったか？」

オーガナイザー 奈良女子大学保健管理センター 高橋裕子先生

岩手大学保健管理センター 立身政信先生

国立大学法人保健管理施設協議会の喫煙対策に関する特別委員会の委員長・副委員長として、本セッションのオーガナイザーを担当された。委員会の2012年の調査では、敷地内禁煙化を導入・実施している大学は約3割であるが、その中で実施後数年を経過した3大学について、導入・実施後の実情や対策等に焦点を当てた報告を依頼された。

2-1) 「大規模大学の敷地内禁煙化後・・・東北大学の場合」 東北大学環境・安全推進センター 黒澤 一先生： 学生・教職員の総数が25,000人を超える大規模大学の東北大学では、2011年10月から敷地内禁煙が実施され、敷地内だけでなく周辺の第三者の敷地も禁煙とされたと報告された。全面禁煙後も喫煙所を設けるべき等の意見が時に出ることもあったが、学内禁煙を維持するためには禁煙推進委員会や安全衛生委員会等の継続的な活動、産業医の出前禁煙講話、禁煙リーダー講習会、新入学生・教職員への禁煙オリエンテーション等の継続的な禁煙教育等により、禁煙推進体制を継続して活動していくことが重要であると強調された。

2-2) 「中規模大学の敷地内禁煙化後」 岩手大学保健管理センター 立身政信先生： 岩手大学は、2008年に敷地内禁煙が開始された。学生へのアンケート調査から、敷地内禁煙の支持率は年々増加し2012年には76.3%となったものの、喫煙者の約50%は「喫煙所がある方が良い」との回答であると報告された。また、大学門外での喫煙に対する解決策として「敷地内に喫煙所を作る」との回答が約36%にみられ、敷地内禁煙の意義に対

する認識の低下がうかがわれる結果がみられたことから、禁煙推進体制を継続して活動していくことが重要であると述べられた。

2-3) 「小規模大学の敷地内禁煙化後」 上越教育大学保健管理センター 上野光博先生： 上越教育大学は学生数約1,400人の大学であり、2011年4月に敷地内禁煙が開始された。実施後も隠れ喫煙等による火災の心配から「揺り戻し」の意見があったが、隠れ喫煙場所への掲示、大学の各種案内書類やHPへの敷地内禁煙の明記、新入学生・教職員への禁煙オリエンテーション、産業医巡視の強化等の対策を行うとともに、喫煙者には禁煙補助薬等も用いた卒煙支援も行っていると述べられた。

3) 「教職員のメンタルヘルス対策」

オーガナイザー 秋田大学保健管理センター 苗村育郎先生
国立大学法人保健管理施設協議会メンタルヘルス委員会の前委員長・現副委員長として、本セッションのオーガナイザーを担当された。多様な職種の職員が勤務する大学では、様々なメンタルヘルス問題が存在していることからその概要を整理するとともにコミュニケーションの観点からみた対策を行うことを目的に3人の演者に講演を依頼された。

3-1) 「教職員のメンタルヘルス問題の概要」 秋田大学保健管理センター 苗村育郎先生： 大学教職員における心や生き方の問題は、多くの職種間でそれぞれに異なった様相を見せることが多いので、異なる組織や異なる立場の人々が直面しやすい問題について職種別に分類するとともに、その対策について概要を解説された。

3-2) 「コミュニケーションから見た大学教職員の「型」とメンタルヘルス」 岡山大学保健管理センター 清水幸登先生： コミュニケーションにおける情報に関して、大まかには人は情報に対する反応として「実感型」と「理屈型」に、情報の受け渡しルートとして「聴覚情報優位型」と「視覚情報優位型」に、得た情報に対する判断・行動パターンについては「規則型」と「証拠型」に分けられるので、これらの型について理解し相手に配慮することにより良いコミュニケーションを行うのに役立つと解説された。

3-3) 「「コミュニケーション」に基づくメンタルヘルスのリスク管理について」 大阪大学キャンパスライフセンター 杉田義郎先生： メンタルヘルス不調が生じた職場のリスク管理は、プライバシーの問題もあり容易でないが、メンタルヘルス不調によりストレスが生じた職場において「コミュニケーション」を通じて緩和できる可能性があり、その方策としてHannaford Cが提案した考え方を紹介され、その考え方を導入すると良い可能性があるという報告された。

5. サテライト講習会

「w-SDS について」 長岡技術科学大学安全衛生管理委員会 w-SDS ワーキング主査
(システム安全系) 福田隆文先生： 特別講演において解説された「w-SDS について」、
実際に実施して行くための方法や手順について具体的に解説された。w-SDS を作成するた
めには関係する法令についての膨大なデータベースの作成が必要であり、多くの大学で導入
するためにはデータベースの共有が必要と思われた。

第17回フィジカルヘルス・フォーラムのご案内
コーディネーター 室蘭工業大学 保健管理センター 佐々木 春喜教授
日時 平成27年3月19日(木)、20日(金)
場所 室蘭工業大学キャンパス予定
多数のご出席を宜しくお願い致します。

第16回フィジカルヘルス・フォーラムプログラム

第1日 3月19日(水)

13:00-13:10

1. 開会式

1) 開会の辞

フィジカルヘルス委員会委員長、第16回フィジカルヘルス・フォーラム コーディネーター 長岡技術科学大学
体育・保健センター長 三宅 仁

2) ご挨拶 フィジカルヘルス・フォーラム会長 筑波大学保健管理センター 大塚 盛男 先生

13:15-17:00

2. テーマ1：大学における安全衛生

(13:15-14:15)

特別講演 「事業所における安全管理法（w-SDS）について ―長岡技術科学大学における実践―

（日医産業医研修1単位） 座長：長岡技術科学大学 三宅 仁

演者：長岡技術科学大学 教授 福田 隆文 先生

(14:15-17:00)

3. ワークショップ：今、大学産業医を取り巻く問題に答える 座長：大塚 盛男 先生、立身 政信 先生

1) 第12次労働災害防止計画と大学 演者：東京大学環境安全本部 大久保 靖司 先生（30分）

2) 健康管理と法律 演者：広島大学保健管理センター長 吉原 正治 先生（15分）

3) 巡視のコツ 演者：岩手大学保健管理センター長 立身 政信 先生（15分）

4) 健康診断 演者：京都大学健康科学センター長 川村 孝 先生（15分）

5) 職員健康診断事後措置 ―新潟大学の事後措置の実例― 演者：新潟大学保健管理センター 真島一郎先生（15分）

6) リスクマネジメントとしての感染症、インフルエンザ対策 演者：千葉大学総合安全衛生管理機構
潤間 励子先生（15分）

7) メンタルヘルス 演者：東京工業大学保健管理センター 安宅 勝弘 先生（15分）

8) その他

17:00～（移動車中）

4. 業務連絡

フィジカルヘルス・フォーラム会長・事務局 筑波大学保健管理センター 大塚 盛男 先生

18:00～20:00＜意見交換会＞ カニの宿 きんばち 21:00～23:00 2次会（十字路）

第2日 3月20日(木)

9:00～12:00

5. テーマ2 大学生・教職員のフィジカルヘルスとメンタルヘルス 「オーガナイズドセッション」

1) 健康診断の予約制・自動システム化について

オーガナイザー：広島大学保健管理センター長 吉原 正治 先生 (60分)

1-1) 健康診断予約制、自動システム化に関する全国調査結果について (7分)

広島大学保健管理センター 吉原 正治 先生

1-2) 熊本大学における日常受診管理システムの運用状況(12分)

熊本大学保健センター 岸川 秀樹 先生、副島 弘文 先生、菊池 陽子 先生、本田 るみ子 先生、
田代邦子 先生、木下 麻衣子 先生

1-3) 名古屋大学における健診データ自動収集システムについて(12分)

名古屋大学総合保健体育科学センター 石黒 洋 先生、市橋 淳 先生、宮田 祐子 先生、後藤 朋与 先生、
中原 久美子 先生、竹中 美樹 先生、押田 芳治 先生

1-4) Web による予約システムを用いた新潟大学の健康診断について～自動計測システムとの併用効果～ (12分)

新潟大学保健管理センター 神主 京子 先生、黒田 毅 先生、真島 一郎 先生、鈴木 芳樹 先生

2) 禁煙対策

オーガナイザー：奈良女子大学保健管理センター長 高橋 裕子 先生 (60分)

2-1) 10:05-10:15 大規模大学の敷地内禁煙化後 東北大学 黒澤 一 先生

2-2) 10:15-10:25 中規模大学の敷地内禁煙化後 岩手大学 立身 政信 先生

2-3) 10:25-10:35 小規模大学の敷地内禁煙化後 上越教育大学 上野 光博 先生

3) 教職員のメンタルヘルス対策

オーガナイザー：秋田大学保健管理センター長 苗村 育郎 先生 (60分)

3-1) 教職員のメンタルヘルス問題の概要 秋田大学保健管理センター所長 苗村 育郎 先生

3-2) コミュニケーションから見た大学教職員の「型」とメンタルヘルス 岡山大学保健管理センター准教授
清水 幸登 先生

3-3) 「コミュニケーション」に基づくメンタルヘルスのリスク管理について 大阪大学キャンパスライフセンター 特
任教授、関西学院保健館 学校医・産業医、全国大学メンタルヘルス研究会 会長 杉田 義郎 先生

12:00～12:15

6. 閉会式

1) ご挨拶 前フィジカルヘルス委員会委員長 岩手大学保健管理センター長 立身 政信 先生

2) ご挨拶 第17回 PHF コーディネーター 室蘭工業大学保健管理センター長 佐々木 春喜 先生

3) 閉会の辞 長岡技術科学大学 体育・保健センター長 三宅 仁

13:15～14:15

8. サテライト講習会

「w-SDS について」 長岡技術科学大学 教授 福田 隆文 先生

第17回フィジカルヘルス・フォーラムのご案内

コーディネーター 室蘭工業大学保健管理センター

佐々木 春喜 教授

日時 平成27年3月19日(木)～20日(金)

場所 室蘭工業大学キャンパス予定



復興祈願花火 フェニックス © 長岡市



平成 25 年 6 月 見附市の英国庭園にて

長岡技術科学大学 体育・保健センター

年報 平成 25 年度（速報）版

平成 26 年 4 月 発行（pdf 版）

（C）2014 無断引用お断り

編集 体育・保健センター

連絡先 〒940-2188 長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学 体育・保健センター

担当 三宅 miyake@melabo.nagaokaut.ac.jp

TEL 0258-47-9822 Fax 0258-47-9821